



交流の輪ひろげよう

Ring

Ring

りんぐりんぐ

第72号
VOL.72

八戸国際交流協会
Hachinohe International Relations Association

2024年10月発行
Published October 2024

スポーツで多文化交流!



写真上 令和6年6月29日(土) 多文化理解交流イベントで桔梗野地区に住んでいる(働いている)住民で、ニュースポーツを楽しみながら交流をしました。

写真下 令和6年6月30日(日) 多文化交流ラボで剣道を体験しました。

交流するともっと
わかる世界のこと。

Index

P2~3 ... 協会イベント報告
P4~5 ... 剣道体験イベントを通じて
P6 ... JICA 海外協力隊員の現地レポート

P7 世界で活躍する八戸ゆかりの人
P8 外国人住民向け防災情報

会員数 個人 110 団体 49

(令和6年9月末現在)

ニュースポーツで 多文化理解 交流イベント

in 桔梗野

6月29日、サンライズはちのへにて「多文化理解交流イベント」を開催しました。当日は、桔梗野地区に住んでいる（働いている）日本人18名とベトナム人11名、フィリピン人4名の合計33名が参加し、ニュースポーツを通して交流を深めました。

今回は、昨年度実施した「地域で育むBOSAI力講座」において、桔梗野地区に住む日本人と外国人が、一緒に防災に関する講座を行ったことをきっかけに企画されました。

参加者は全8チームに分かれ、スカットボール、ディスクゲッター、ニチレクボール、輪投げの4つのニュースポーツで点数を競いました。始めにじゃんけんをして順番を決めたり、声援や拍手を送ったりするなど、笑顔でコミュニケーションをとっていました。



ニチレクボール

ボールに注目!



スカットボール

みんな上手でした!

Congratulations!



賞品ゲット!

うれしいですね!

閉会式では、1位から3位までのチームに景品が贈られました。うれしくてガッツポーズをする人やチーム同士の健闘をたたえあっている人もおり、参加した人からは「初めて会う人が多かったが、楽しい」「もっとこういう場があればいい」などの声がありました。

桔梗野連合町内会の名久井会長も「和やかな雰囲気での交流できた。8月の夏祭りにも参加してもらいたい」と話していました。今後も地域の中で一緒にイベントに参加したり、交流を深めたりしていただけたら嬉しいですね。

参加してくださった皆さん、そして、競技の説明や審判をしてくださった八戸市スポーツ推進委員の皆さん、ありがとうございました!

港町八戸にあったらいいなと思う老舗食堂のメニューをイメージしました

常温保存OK!
八戸 たくわ食堂

武輪水産株式会社
〒031-0841 青森県八戸市大字校町字下手代森32-1
TEL:0178-33-0121 (代) www.takewa.co.jp

テラスにでると自然がいっぱい小鳥のさえずりと花と緑に囲まれた

とどろき保育園

認定こども園

〒039-2241 八戸市市川町字轟木前34-3
TEL:0178-52-5511
FAX:0178-52-5503
ホームページ: http://www.todoroki.info/

バナナピクニック

(多文化体験)しました!

7月28日に八戸市美術館主催のイベントに八戸国際交流協会もコラボさせていただき、おいらせ町の「アグリノ里おいらせ」と「いちよう公園」をバスでめぐるイベントを開催しました。日本人10名、ベトナム人9名、オーストラリア人1名の20名が参加しました。



八戸市美術館に集合し、3～5人の日本人と外国人混合チームになり説明を受けた後、バスでおいらせ町のアグリノ里へ向かいました。



Summy



100本超え!

アグリノ里では、ビニールハウスで栽培されているバナナの本数をチームで数えたり、アイスやジェラートを食べたりして交流を深めていました。

いちよう公園では、自由の女神像を背景に記念写真をとりました。



最後は、美術館で今日の思い出に残ったことを、一人ひとり絵に描いてもらい、発表してもらいました。

今回の交流を通して、日本人も外国人もお互いの理解を深めました。参加いただきありがとうございました。

随時、いろいろなイベントを開催中です。



CHECK 左記をチェックしてください!

八戸国際交流協会 会員募集!

八戸国際交流協会の会員を募集しています。当協会は、地域の国際交流や、多文化共生社会の推進を目的として活動しており、会員の皆様の会費によって運営されている団体です。

年会費 個人1口 2,000円 団体1口 10,000円

- 会員の特典
- 協会発行機関紙「りんぐりんぐ」をお届けします。
 - 協会主催国際交流イベント情報をいち早くお届けします。
 - 協会主催のイベントや外国語講座では会員割引等の特典があります。

八戸国際交流協会ボランティア募集!

当協会は、国際交流活動に参加していただけるボランティアを募集しています。ボランティアとして登録できる方は、18歳以上で、次に掲げる条件を満たす方です。

条件

- 1)八戸圏域内で活動できる方
- 2)国際交流に対する理解及び熱意がある方

活動内容 通訳・翻訳、ツアーガイド、ホームステイ、その他協会が認めた活動

「習う・使う・感動する」英語学習体験を通じての成長

編集長：川崎 康一

外国語を学んでいると、それを使って相手とコミュニケーションがとれたことに感動し、その成功体験が嬉しくて上達につながると思います。

この号では、英語でのコミュニケーションが向上した私の実体験と、地域の人々が英語を使って国際交流をしている場面取材したので報告します。



フィリピンでの失敗を通して

私は英会話教室で英語を習っていましたが、教室の中でしか使わなかったため外国人とのコミュニケーション能力はほとんどありませんでした。それが、フィリピンのマニラ事務所に赴任することになり、否が応でも英語コミュニケーションが必要な状況になりました。

赴任して早々に、電話で相手の言っていることがよく分からず「Yes」と言ったら、次の日に保険のセールスの人が来てしまい大変だったことがありました。生活する中で、コミュニケーションの失敗をたくさん体験しました。それらの失敗から、事務所の先輩や現地人スタッフの場面に応じた表現の使い方、感情の入れ方などを見聞きし、言葉を一つひとつ学んでいきました。

言葉に感情を入れて話し、伝わった感動体験

現地スタッフからは「簡単な英語でも良いから、喜んでいたり、怒っているとか、感情を入れて話せば伝わる」と言われました。これを実感したのがシンガポールのアミューズメントパークに入場する際の出来事でした。

私が入場待ちの列に並んでいると、それにお構いなく列の先頭方向に歩く人に対して、列の後ろに並ぶようにと英語で厳しく注意しました。すると、その人は素直に「すみません」と言いながら列の後方に戻ってくれました。「とっさに出た英語で意思疎通ができた！」と、後から思い出して、感動しました。完璧ではない英語でも、感情をのせたら伝わるんだと感じた瞬間でした。

このように、「外国語は習って使って感動する、そして通じなければもう一回トライする」をアウトプットし続けるという状況がマニラの生活でありました。

八戸に住む外国人との交流を通じて

昨年度ですが、八戸ブックセンターで「ALTと英語で話そう」というイベントがあり、外国語に関心のある方々が参加しました。参加者の中学生は「学校で習っている英語で会話ができて良かった」と喜んでくれました。講師のALTからも「このように学校以外でも英語を使うような状況が多くあれば良いな！」という提案をいただきました。私も取材をしていて、参加者達が自然に英語でコミュニケーションしている光景を見て感動しました。



子どもチームと親チームに分れてALTと英語で話しました

剣道体験イベントを通じて

6月30日に開催された、多文化交流ラボの剣道体験イベントで八戸市立北稜中学校の夏坂先生、英語通訳の生徒、八戸市立三条中学校の中学生剣士がボランティアで参加してくれました。夏坂先生は「一緒に剣道を楽しもうと思えば良いんだよ。言葉が通じなかったら自分がやってみせれば良いんだし、うまくいったら一緒に喜べば良いんだ。みんなで楽しい時間を過ごそう」と生徒に伝えていました。

参加してくれた中学生に日本武道である剣道を指導した感想を聞いてみました。

佐々木
さん

参加者の中に日本語を話してくれる人がいて、気が楽になり教えることができた。一生懸命に剣道している姿を見て、自分も初心にかえることができた。教える身になり、教える難しさがわかり先生のすごさがわかった。

小向
さん

英語が得意じゃないけど、日本の剣道を通じて外国の方と一緒にできたのがよかった。

関野
さん

剣道を楽しみに来てくれた人がいたのがうれしかった。教える体験で、ジェスチャーの大切さを知った。相手が笑顔で返してくれるのがうれしかった。

中岫
さん

日本語で話したら伝わった。剣道のことに興味をもってくれたのがうれしかった。

高田
さん

初めは英語で剣道を教えることが不安だった。でも、ジェスチャーで「真似してね」と言ったら伝わった。文化の違う国の人たちに日本の剣道が伝えられてよかった。



一生懸命な参加者のみなさん



中学生剣士のみなさん「剣道を教えることが楽しかった」

剣道体験を終えて～夏坂先生より～

生徒達の顔には笑顔とやりきった充実感がありました。剣道を教えたり、考えを伝えたりするための言葉の難しさはあったと思いますが、同じ時間、同じ空間を楽しんだという気持ちは感じられたと思います。これこそ国際交流ではないでしょうか。

最後に

当日は、北稜中学校の生徒が夏坂先生の通訳として大活躍しました。参加したALTのクリスさんは、通訳の英語を聞いて「日本語能力が十分でない参加者もいましたが、英語の説明のおかげで剣道についてより深く知ることができました」と話していました。

中学生達が習った外国語を使い、剣道という日本文化を外国人達に教える光景を見て私自身もとても感動しました。これからも楽しい体験を通して、外国語習得をして欲しいと思います。

JICA海外協力隊員の現地レポート



デッサ山



八戸市出身 ^{いしや}石屋 ^{ちさと}知里さん

JICA海外協力隊としてマラウイ共和国の
小学校教育に携わっている石屋知里さんをご紹介します。



八戸市民の皆さん、Muli bwanji ? (※1) 現在、JICA海外協力隊としてアフリカのマラウイ共和国で活動しております、石屋知里と申します。2024年5月から小学校の教員として、Expressive Arts(表現芸術、以下EAと表記)という科目の授業、ならびに先生方の授業のサポートを行っています。

マラウイは東アフリカに位置する内陸国で、タンザニア・ザンビア・モザンビークの3カ国と国境を接しています。国土は北海道と九州とをちょうど合わせたくらいの面積で、その1/5を世界遺産にも登録されているマラウイ湖が占めています。皆さんにとってマラウイはあまり馴染みのない国かもしれませんが、「風をつかまえた少年」で有名なウィリアム・カムクワンバ氏をご存じの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。自転車の部品や廃品から自力で風車を作り、風力発電による村への電気の供給を実現された方です。私も中学生の頃に英語の教科書で彼の物語を読み、とても感動したことを覚えています。そしてなんと、マラウイは実は青年海外協力隊が世界で最も多く派遣されてきた国でもあるのです！(※2)



カリブ？



同僚との昼食

マラウイは the Warm Heart of Africa と呼ばれ、その名の通り温かく穏やかな人々が暮らしています。物事をシェアする文化が根付き、職場の同僚や町の人たちが「カリブ？(食べる?)」と言ってよく食べ物を分けてくれます。みんなのんびり、ゆったりとしていて控えめですが、笑う時は大きな声で、楽しそうに明るく笑います。そんな彼らと一緒にいるうちに、マラウイに来たばかりの時の緊張や不安はどこかへ消えてしまいました。世界の最貧国の一つと言われるマラウイですが、当たり前に関いを助け合い、支え合って生活している、そんなマラウイの人々が私は大好きになりました。これから2年間、このコミュニティの一員として生活をしながら、本当の豊かさとは何なのか、じっくりと考えていきたいと思っています。

私が授業を担当するEAは音楽、体育、図工、家庭科といった実技科目を統合した科目です。しかし、教材の不足や大人数への一斉指導の必要性から、現地の先生方も指導に苦手意識を持っているのが現状です。マラウイの小学校では、子どもたちは進級するために年度末の試験に合格しなければならないのですが、EAの試験を苦手とする子どもも少なくなく、十分な点数を取れないがために進級できないということも珍しくありません。私のミッションは、先生方がより魅力あるEAの授業ができるようサポートすることです。同時にクラブ活動などを通じ、子どもたちにさまざまな芸術活動に触れる機会を提供していきたいと考えています。マラウイの子どもたちは歌や踊りが大好き。EAが好きだと話す子ばかりです。そんな彼らが楽しみながらEAを学ぶことができる環境づくり、および進級率の向上に取り組んでいきたいと思っています。

Tionana! (またね！)



石屋さん授業風景



学校の風景

※1:Muli bwanji?(ムリブワンジ?): 公用語のチェワ語で「How are you?」

※2:青年海外協力隊派遣人数参考: JICA海外協力隊ホームページ「事業実績/派遣実績/青年海外協力隊/海外協力隊派遣実績」(2023年3月末時点)1971年の派遣から、約50年間で約1800名以上の隊員が派遣されてきました。

世界で活躍する八戸ゆかりの人

ここでは、世界で活躍している八戸出身者を紹介しています。

今回はフィリピン共和国・マニラ在住の野田明広さんです。



八戸から在フィリピン日本国大使館附属 マニラ日本人学校(通称MJS)に赴任して

現在私は、『在フィリピン日本国大使館附属マニラ日本人学校(通称MJS)』に文科省在外教育施設シニア派遣教師として勤務しております。日本人学校については、社会科教師になって、自分の視野を広げる意味で興味がありましたが、業務や役職の都合上で応募しませんでした。そこで、定年退職を機にチャレンジしようと思い、何とか家族の同意を得て現在に至っております。

これまでの私は、イタリア、香港、ハワイの海外旅行の経験はありましたが海外での仕事の経験はありませんでした。MJSで働くきっかけは、希望地を文科省に一任したからです。

さて、来比してもうすぐ1年が経過しようとしています。『海外』と関わったことで得たことや感じていることを簡単に述べたいと思います。

マニラ日本人学校での仕事

小中一貫校。全校児童生徒数約420名。日本全国から集まった教職員と現地の英会話教師その他のスタッフ。文化や教育の考え方の違いなど学べる。

中学部での経験(一部紹介します！)

生徒

生徒は保護者の仕事関係で在籍⇒転出入も多い。真面目で一生涯懸命な生徒がほとんど。全国各地からの生徒との出会いは貴重な経験。

様々な交流事業

生徒交流…近隣の学校(BSM BEACOM)との交流の実施。異文化を知りレクリエーションでの親睦。英語での会話。MJSの特色。

修学旅行…セブ島現地校にDonation。生徒考案のレクリエーション実施。美しい自然環境と活発な現地の子どもの有意義な交流。



セブ島修学旅行

フィリピンのマニラ(BGC)での生活

BGC(ボンファシオグローバルシティ)のコンドミニウムに在住。フィリピンの中心となる都市。街並みが綺麗。交通渋滞激しい。バイクの数が非常に多い。年中夏で暑い。冬がないので楽。単身赴任のため家事が大変。

英語力が必要。自分のこれまでの英語学習に対するの不勉強を反省。

最後にMJSでの業務は決して楽ではありませんが、授業がとても楽しいです。マニラでは、自然・文化・社会環境などにふれあい、そして、様々な人との出会いなど、貴重な経験を積んでいます。これからも、この経験を自分に生かしたいと思います。皆さんも是非チャレンジしてみたいはかですか。

Hachinohe City Disaster Prevention Information for Foreign Residents

はちのへし ホームページで外国人住民向けの防災情報を、英語とやさしい日本語で提供しています。防災知識を増やし、日ごろから災害に備えるために、いつでも見ることができるようにしてください。

Hachinohe City provides disaster prevention information for foreign residents in English and simple Japanese on the website. Please make sure you can check it at any time to increase your knowledge about disaster prevention and prepare for disasters on a daily basis.

ホームページ

したコードリンクから、ホームページを見ることができます。

<https://bit.ly/3fzCwjH>

★外国人向け防災情報ホームページ➡



提供情報

①災害時避難情報
避難の指示や避難所の開設情報をお知らせします。

②災害に備えるための情報
防災ガイドブックや避難所の一覧表を掲載しています。

③災害時に便利な多言語情報
防災情報を多言語で読めるつぎのアプリやウェブサイトのリンクを紹介しています。



For Android



For iOS

←災害情報がわかる「Safety tips」



➡

避難所の場所がわかる「全国避難所ガイド」➡

Website

You can access the website from QR code or link below.

<https://bit.ly/3fzCwjH>

★Disaster Prevention Information ➡



Information delivered

①Disaster Evacuation Information
Evacuation orders and shelter opening information

②Information to Prepare for a Disaster
Disaster prevention guide book and the list of shelters

③Useful Multilingual Information Links
Links to apps and websites that offer disaster prevention information in multiple languages



For Android



For iOS

←「Safety tips」 is an app for giving you disaster information.

「Japan Shelter Guide」 is an app for ➡
Searching for disaster evacuation Shelters in Japan.



れんらくさき Contact Information

八戸市 市民連携推進課 国際交流グループ

Citizen Collaboration Promotions Section International Relations Group
〒031-8686 1-1-1 Uchimaru Hachinohe
TEL 43-9257 FAX 47-1485 Email renkei@city.hachinohe.aomori.jp



編集後記

10月27日に県主催、当協会共催で「国際ふれあいフェスタ in はちのへ」が開催されます。これまでよりは規模が大きくなります。それとは別に、在八外国人と地域住民の交流の場を作る活動をしている方、外国につながるこどもの支援をしている方、芸術関係で交流している方など、八戸から海外に出かけ生活している方も多くいます。これらの交流体験・経験を生かして、外国人にとっても住みやすい八戸になっていけば良いですね。

編集長 川崎 康一

編集スタッフ

編集長：川崎 康一
編集員：田頭 順子 亀井 圭子 Michael Morris
岩間 未希子 今井 文子 ジュンジ・ヤン
大崎 美代子

発行・お申込み・お問合せ：
八戸国際交流協会（八戸市市民連携推進課内）
〒031-8686 八戸市内丸1-1-1
TEL 0178-43-9257
FAX 0178-47-1485
E-mail hira.hachinohe@gmail.com
<http://hachinohe-hira.jp>




印刷：新光印刷株式会社
〒031-0813 八戸市新井田字鷹清水9-11
TEL 0178-34-5331 FAX 0178-34-6078